

令和5年度栃木支部 保険者機能強化予算（案） について

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

1. 令和5年度支部医療費適正化予算

予算枠 12,635千円 支部計画 12,616千円

(単位：千円)

事業	予 算		
	令和4年度	令和5年度	対前年度比
医療費適正化対策経費	2,060	2,045	△ 15
医療機関を通じたジェネリック医薬品勧奨チラシの作成	670	135	△ 535
乳幼児世帯向け医療費適正化のための情報提供 (1)	1,390	1,910	520
広報・意見発信経費	10,964	10,571	△ 393
紙媒体による広報等 (納入告知書同封チラシ、健康保険委員勧奨チラシ等の制作)	2,142	1,918	△ 224
保険証回収啓発ポスターの制作・発送	792	-	△ 792
各種メディアを活用したインセンティブ広報 (2)	4,500	5,000	500
YouTube広告を活用した「上手な医療のかかり方」広報	550	554	4
新規適用事業所、新規加入者向け協会けんぽ事業内容等の情報提供	813	1,081	268
小学生向け医療費適正化等の情報提供 (3)	2,167	2,017	△ 150
合 計	13,024	12,616	△ 408

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(1) 乳幼児世帯向け医療費適正化のための情報提供

目的	新生児がいる世帯に対し情報提供を行うことで、親世代の「上手な医療のかかり方（医療費適正化）」に関する理解促進や情報提供冊子による「健康教育」を通じたヘルスリテラシーの向上を図る。
事業概要	【継続】 出生に伴い新生児を扶養している被保険者に対して、#8000のキャラクター付きお薬手帳カバーやリーフレット、医療費適正化（適正受診やジェネリック医薬品など）に関する内容が掲載された情報提供冊子を送付する。
予算	1,910千円（前年差+520千円）
評価方法	・0～4歳児における時間外診療件数の前年度以前との比較。 ・0～4歳児におけるジェネリック医薬品の支部別年齢階級別使用割合の前年度以前との比較。 ・0～9歳児における支部別年齢階級別医療費の前年度以前との比較。

(2) 各種メディアを活用したインセンティブ広報

目的	各種メディアを活用したインセンティブ広報を実施することで、事業主および加入者におけるインセンティブ制度の理解度を向上させ、健康診断や保健指導、重症化予防事業の実施率、ジェネリック医薬品使用割合の向上につなげ、医療費の適正化を図る。
事業概要	【継続】 令和2年度に実施したアンケート結果および令和4年度の実施結果から、有効と思われるメディアを活用し、事業主や加入者を対象に新聞やウェブ等の媒体を使った広報を実施する。また、翌年度以降に効果的な広報が実施できるよう検証を行う。
予算	5,000千円（前年差+500千円）
評価方法	・インセンティブ制度における各指標（実施率）の前年度との比較。 ・実施した広報媒体および広報内容の視聴回数や表示回数など。

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(3) 小学生向け医療費適正化等の情報提供

目 的	学齢期からの健康教育を実施することで、親世代も含め、医療費適正化に関する理解促進や将来的なヘルスリテラシーの向上を図る。
事業概要	【継続】 学齢期の児童を対象に医療費適正化等（食事や運動などの生活習慣改善や医療機関受診）に関する冊子および動画を製作し、県内の小学校へ配布する。
予 算	2,017千円（前年差▲150千円）
評価方法	当該事業を実施する小学校の教諭および児童にアンケートを実施し、行動変容の有無について確認（調査）する。

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

2. 令和5年度支部保健事業予算 予算枠 52,644千円 支部計画 52,644千円

(単位：千円)

事業項目	予算		
	令和4年度	令和5年度	対前年度比
健診経費	31,601	30,769	△ 832
健診実施機関実地指導旅費	30	30	-
事業者健診の結果データの取得 (1)	8,969	8,888	△ 81
集団健診 (2)	15,016	15,251	235
健診推進経費	2,750	1,892	△ 858
健診受診勧奨等経費	4,836	4,708	△ 128
保健指導経費	3,226	3,534	308
中間評価時の血液検査費	528	264	△ 264
医師謝金	13	13	-
保健指導用データ等送料	60	60	-
保健指導用パンフレット作成等経費	160	160	-
保健指導用事務用品費 (測定用機器類等)	400	200	△ 200
保健指導用図書購入費	100	100	-
公民館等における特定保健指導	100	80	△ 20
保健師募集広告経費 (支部)	50	50	-
保健指導推進経費	726	1,485	759
保健指導利用勧奨経費	1,089	1,122	33

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(単位：千円)

事業項目	予算		
	令和4年度	令和5年度	前年度比
重症化予防事業経費	11,734	10,870	△ 864
未治療者受診勧奨 (3)	11,379	10,735	△ 644
重症化予防対策	355	135	△ 220
コラボヘルス事業経費 (4)	7,711	7,460	△ 251
コラボヘルス事業	6,726	6,526	△ 200
情報提供ツール	985	934	△ 51
その他の保健事業経費	－	11	11
その他の保健事業	－	11	11
保健事業実地計画アドバイザー経費	－	－	－
合 計	54,272	52,644	△ 1,628

事業項目	予算		
	令和4年度	令和5年度	前年度比
特別枠 (※)		1,624	1,624
メタボリスク保有者への行動変容通知発送および効果検証事業 (5)	令和5年度 から新設	1,624	1,624
合 計		1,624	1,624

※ 令和5年度から新設。本部承認された場合、支部の通常の予算枠に追加して実施できる事業。

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(1) 定期（事業者）健診結果データの取得、健診勧奨強化（被保険者）

目的	「生活習慣病予防健診」未利用事業所の定期（事業者）健診の結果データを取得する。同時に生活習慣病予防健診への切り替えを促すことにより、健診実施率の向上を目指す。
事業概要	【継続】 データ提供に同意いただけていない事業所に対して、「同意書」及び「健診結果データ」の提出をいただくよう、外部委託事業者による文書及び電話での取得勧奨を実施する。併せて、健診費用の補助がある生活習慣病予防健診に切り替えることで、定期（事業者）健診の実施に替えられること等のメリットを伝えながら、切り替えを促していく。 ＜対象事業所＞ 3,000社
予算	8,888千円（前年度差▲81千円）
評価方法	対象事業所のデータ提供者数、受診者数、受診率を検証する。（前年度との比較）

(2) 特定健診勧奨強化、実施拡大（被扶養者）

目的	健診機関と連携した協会主催のオプション健診等を定期的実施し、対象者に文書による受診勧奨を行うことで受診率向上を目指す。
事業概要	【継続】 県内各地域ごとに、協会主催のオプション健診を実施する。特に受診率の低い地域に対しては実施回数を増やし、受診機会の増加を図る。 また、市町と連携し、がん検診と同時受診が可能な市町主催の集団健診の再案内や、協会けんぽ加入者の受診枠を個別に設けた市町との合同健診を開催することにより、受診しやすい環境を整える。 受診案内文書については、ナッジ理論を用いた着目されやすい勧奨資材（はがき・封筒・A4見開き圧着等）を送付することにより行動変容を促し、着実な受診へと結びつけていく。
予算	15,251千円（前年度差+235千円）
評価方法	受診者数、受診率を検証する。（前年度との比較）※地域ごとにも実施

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(3) 重症化予防対策の推進（被保険者）

目的	健診実施後、血圧、血糖、脂質の値が「要治療」または「要精密検査」と判定された方に対して、医療機関への受診勧奨を行うことにより、生活習慣病の発症、重症化を防ぎ、QOLの維持を図る。
事業概要	【継続】 協会本部による文書勧奨実施後、外部委託事業者を活用した「文書＋電話」による受診勧奨を実施する。 電話勧奨は、勧奨文書を送付後に、保健師等が直接本人へ受診の必要性等を説明するとにより、受診率の向上を図る。（本人への架電は勤務先の事業所経由で実施） <対象者> 健診健診後3か月以内に医療機関への受診が確認できない要治療／要精密検査者：9,200人。
予算	10,735千円（前年度差▲644千円）
評価方法	受診勧奨後3か月以内の医療機関受診者数、受診率を検証する。（前年度との比較）

(4) コラボヘルス事業

目的	健康経営の浸透および事業所における健康経営に関する取り組みの質の向上
事業概要	【継続】 ① 栃木県・健康保険組合連合会栃木連合会と共同で「とちぎ健康経営事業所認定」を実施し、自社における健康経営の取組内容を振り返りつつ、健康経営に積極的な事業所を増加させる。 ② とちぎ健康経営事業所に対し、訪問・オンライン・VOD・DVDを活用した身体活動増加やメンタルヘルスケアのための健康セミナーを提供する。 ③ とちぎ健康経営事業所に対し、健康づくり等に関する冊子を提供する。 ④ 宣言事業所のうち、標準化した宣言項目に未切替の事業所に対して、切替の勧奨を行う。 ⑤ とちぎ健康経営宣言事業所に対し、事業所カルテ等（健診結果や各種リスク等が見える化したツール）を送付。
予算	7,460千円（前年度差▲251千円）
評価方法	・とちぎ健康経営宣言事業所における健診および特定保健指導実施率の向上率や各種リスクの改善度（前年度との比較） ・取組状況アンケートによる意識調査 ・標準化した宣言内容への切替率

令和5年度 栃木支部保険者機能強化予算の概要

(5) メタボリスク保有者への行動変容通知（特別枠）

目 的	メタボリスク、代謝リスク保有者の減少
事業概要	【新規】メタボリスク保有者に対して、次回の健診受診前に、過去の健診結果や生活習慣改善のためのヒント等を通知することでヘルスリテラシーを向上させ、生活習慣の改善に向けた行動変容を促す。 <対象者> 40歳、39歳、38歳到達者：1,400人
予 算	1,624千円（※）
評価方法	メタボ予備群／該当者の減少率、健診結果の検査項目ごとの改善率を検証する。（前年度との比較）

※ 令和5年度から新設。本部承認された場合、支部の通常の予算枠に追加して実施できる事業。